

# 学校紹介

三豊市立二ノ宮小学校児童会



(左から) 須藤 りな/須藤 晴薫/荒木 穂香/宮崎 惺

二ノ宮小学校は、あいさつ活動が伝統です。あいさつ名人を紹介したり、一緒に活動するボランティアを募集したりして、あいさつの輪を広げています。季節ごとの児童集会や色別活動を通して全校生の仲がよいのも自慢です。

三豊市立本山小学校児童会



(上段左から) 英 奏志/佐藤 陽/前川 公平  
(下段左から) 渡邊 葵香/藤田 楓/池田 英理香

本山小学校では、三豊未来ヤングサミットでの発表に向け、SDGsの項目の中から特に取り組みたいことを「チョボラをしよう」に決めました。「チョボラ」は本山小学校でずっと引き継がれている伝統の活動です。チョボラを通して、笑顔と思いやりいっぱいの本山小学校にできるようにがんばります。



三豊市立大見小学校児童会



(左から) 内田 仁衣子/横山 琴音/村井 唯優  
若宮 遊/大下 由翔/横田 愛奈

大見小学校児童会では、「元気なあいさつがあふれる学校」「楽しい学校」を目指して活動を考えて取り組んでいます。また、月に2回エコキャップと牛乳パック回収を行い、SDGsの社会づくりに貢献しています。

三豊市立仁尾小学校児童会



(上段左から) 岩井 咲良/石川 美咲/前田 美来/高島 琴羽  
(下段左から) 齊賀 己歩人/三井 悠太郎/吉田 博哉/浅野 結愛

仁尾小学校では、「笑顔・元気・思いやり」を合言葉に、あいさつ運動等を推進しています。SDGsの項目の中から特に「海洋教育」に視点をあて、今年度は、仁尾の宝「父母ヶ浜」の美しい自然を守る活動にも取り組みます。

## 編集後記

新緑が目には鮮やかに映る季節となりました。しかしながら以前とは違った社会環境となっており、地域の集まりや催し事もなくなり、まだまだこれからも多くのことを我慢する必要があると考えます。現在、国を挙げてコロナ感染症対策のワクチン接種が進んでおります。早くこの感染症が終息し、市民皆さまのマスクのない笑顔を見られますように祈念して、あいさつとさせていただきます。(近藤 武)

## 今月の表紙

### 財田ジュニアバレーボールクラブ

#### 財田JVC 団員大募集

財田町内外の小学生が在籍しているバレーボールチーム! バレーを通じて、体力づくり、あいさつ、マナーやチームワークの大切さを学んでいます。未経験の方や、学校が違って大丈夫です。(近藤) [お問合せ先 監督 秋山祐子 090-7140-6335]



議会広報委員会  
委員長 岩田 秀樹  
副委員長 田中 達也  
委員 市川 洋介  
高木 修  
近藤 武  
水本 奈美  
石井 勢三



発行・編集 三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1  
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp

三豊市議会だより 2021年5月号

令和3年5月1日発行



三豊市

# 議会だより

5 2021年 月号  
No.41

<https://www.city.mitoyo.lg.jp/gikai/>

財田JVC

2月臨時会・3月定例会 ②税金の使い道が決まりました ④議案報告 ⑥審議結果  
⑦代表質問 ⑩一般質問 ⑪委員会審査 ⑫学校紹介



先端技術導入推進事業



【事業費 1,026万円】  
 東京大学大学院松尾研究室、香川高等専門学校との連携により、AIを活用した地域課題の解決やAI人材の育成を目的とした事業を行う。

宝山湖公園管理運営事業



【事業費 4億1,570万8千円】  
 宝山湖公園芝生広場のグランド整備および水洗トイレや駐車場の改修工事等を行う。

社会教育施設管理事業



【事業費 6,542万3千円】  
 市内2カ所のコミュニティセンター実施設計等を行う。

交通政策推進事業



【事業費 2,276万9千円】  
 「三豊市地域公共交通計画」の策定と、デジタル技術を活用した交通モードの検討や交通基盤データの構築に取り組む。

デジタル商品券事業



【事業費 3,500万円】  
 プレミアム付商品券の一部をデジタル化し、市内商業の活性化を図るとともに地域のデジタル化を推進する。

定住促進事業



【事業費 1億4,326万4千円】  
 最重要課題として位置付ける人口減少問題の解決に向け、本市への移住・定住施策を行う。

畜産業一般管理事業



【事業費 3,062万8千円】  
 専門家を招へいし、鳥インフルエンザ対策立案に係る原因究明を行う。また、鳥インフルエンザで影響を受けた事業者への支援を行う。

こどもの居場所づくり事業



【事業費 260万3千円】  
 子どもが安心して過ごせる居場所づくり活動を支援し、地域で子どもを見守り育てるネットワークの拡大に取り組む。

コミュニティバスデジタル化推進事業



【事業費 1,593万2千円】  
 市民の移動を支える公共交通手段として、利用者の利便性向上のためデジタル化に取り組む。

アダプティブラーニング事業



【事業費 3,804万円】  
 児童生徒の能動的な学習を促すため、タブレット等端末を活用して個別最適化された学習を行う。

給付型奨学金事業



【事業費 1,200万円】  
 修学意欲を持ちながら、家庭の経済的な理由等で進学が困難な方に対して奨学金の給付を行う。

都市計画事業



【事業費 4,257万9千円】  
 立地適正化計画の公表後に市役所本庁舎および詫間庁舎周辺の整備計画を進めていく。

市の予算は議会でしっかりチェック!

令和3年度の税金の  
 使いみちが決まりました



3月定例会では市長から提出された予算案について、予算特別委員会を設置し、市長・市の執行部に質疑を行い、本当に必要なお金なのか、しっかり審査しました。質疑の内容は19ページに掲載しています。  
 今年度の主な事業を紹介します。

令和3年度 予算	一般会計	352億7,000万円	原案 可決
	特別会計(8会計)	177億6,500万円	
	企業会計	52億3,742万3,000円	

令和3年度 主要新規事業・重点施策

父母ヶ浜海水浴場管理事業



【事業費 4,097万5千円】  
 来場者の利便性・満足度向上を目指すため、公衆トイレの整備を行う。

公有財産管理事業



【事業費 9,298万9千円】  
 旧大浜幼稚園解体工事等を行う。

消防施設一般経費



【事業費 3億3,033万3千円】  
 三豊市消防団再編計画に基づき、屯所の建て替えや車両の更新等を行う。

# 令和3年 第1回 臨時会 の概要

【会期 2月17日】

今臨時会では、補正予算1件が可決、人事案件3件が同意されました。

## 議案 Pick Up

議案第1号  
令和2年度  
三豊市一般会計補正予算  
(第10号)

可決

歳入は、新型コロナウイルススワクチン接種による緊急対応に伴い、国庫支出金を3億6,313万円増額し、歳出は、新型コロナウイルススワクチン接種事業を3億6,313万円増額するもの。

## 三豊市固定資産評価審査委員会委員の選任

同意

山下 博 (財田町財田上)  
武田 茂義 (高瀬町新名)  
吉田 安宏 (仁尾町仁尾)

### ■全会一致の議案

議案名等	議決結果
令和2年度三豊市一般会計補正予算 (第10号)	原案可決
三豊市固定資産評価審査委員会委員の選任について (山下 博)	原案同意
三豊市固定資産評価審査委員会委員の選任について (武田 茂義)	原案同意
三豊市固定資産評価審査委員会委員の選任について (吉田 安宏)	原案同意

# 令和3年 第1回 定例会の概要

【会期 2月26日～3月26日(29日間)】

## 今定例会では、次のことが決まりました

- 令和2年度補正予算 ..... 10件可決
- 令和3年度予算 ..... 10件可決
- 条例に関する議案 ..... 16件可決
- 人事案件 ..... 12件同意
- その他市長提出議案 ..... 1件可決
- 議員提出議案等 ..... 3件可決
- 議員派遣 ..... 2件可決

この中から、議案をピックアップし、ご紹介します。

## 可決 令和2年度補正予算 補正

- 一般会計 520,964千円減↓ 45,039,646千円
- 特別会計
  - 国民健康保険事業特別会計 421,478千円減↓ 8,090,701千円
  - 国民健康保険診療所事業特別会計 2,091千円減↓ 158,836千円
  - 後期高齢者医療事業特別会計 5,326千円増↑ 1,104,151千円
  - 介護保険事業特別会計 93,787千円減↓ 8,174,702千円
  - 介護サービス事業特別会計 2,664千円減↓ 97,846千円
  - 集落排水事業特別会計 752千円増↑ 169,402千円
  - 港湾整備事業特別会計 3,995千円増↑ 26,541千円
- 企業会計
  - 病院事業会計 122,491千円減↓ 3,390,900千円

## 副議長就任あいさつ



副議長 丸戸 研二

この度、令和3年三豊市議会第1回定例会におきまして、市議会副議長に選任されました。志した道とはいえ、改めて、その責任の重さに身が引き締まる思いであります。今、私たちはコロナウイルス感染症という未知なる危機に遭遇しております。また、拡大する行政需要に対応するため財政的にも課題が拡大しており、今こそ議会も市長もお互いの立場から、三豊市の将来と子どもたちの未来のため、それぞれの職責を全うしなければなりません。もとより微力ではありますが、コロナを乗り越え、市民生活における「新たな日常」が実現できるよう全力で取り組みます。今後ともご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

## 議案 Pick Up

議案第26号  
三豊市こども・子育て支援センター機能等検討委員会設置条例の制定について

可決

(仮称)三豊市こども・子育て支援センター(多機能施設開設に向け、学識経験者および子育て支援事業の従事者から専門的な助言を受け、こども・子育て支援センターが市民にとって利用価値のある、また利用しやすい施設とすることを目的に検討委員会を設置するため、条例の制定を提案されたもの。

## 議案 Pick Up

議案第27号  
三豊市立学校適正規模・適正配置検討委員会設置条例の制定について

可決

策定から10年が経過する学校再編整備計画の見直しを行い、学校に通う子どもたちにとってより良い教育環境を整備し、充実した学校教育の実現に資することを目的に検討委員会を設置するため、条例の制定が提案されたもの。

## 議案 Pick Up

議案第28号  
政治倫理の確立のための三豊市長の資産等の公開に関する条例の一部改正について

可決

三豊市長の資産等報告書等の閲覧請求者に関する住所要件の制限を撤廃し、何人も閲覧請求可能とするため、条例の一部改正を提案されたもの。

## 議案 Pick Up

可決

議案第28号  
三豊市議会議員定数の変更の件

可決

委員の定数を「8人」から「7人」に変更するもの。

可決

## 人事案件 (敬称略)

同意

- 教育委員会教育長の任命 長尾 卓也 (まごう町炭所西)
- 公平委員会委員の選任 川江 秀樹 (高瀬町下麻)
- 人権擁護委員候補者の推薦 大西 ひとみ (山本町河内)
- 大久保 進 (高瀬町下麻)
- 合田 和稔 (山本町辻)
- 建林 伊都子 (三野町大見)
- 秋山 勝美 (豊中町本山)
- 十川 ゆかり (豊中町上高野)
- 岡田 満徳 (詫間町大浜)
- 西山 正広 (仁尾町仁尾)
- 木下 政晴 (財田町財田上)
- 重信 厚 (財田町財田上)

## 委員会委員の辞任・選任

- 辞任 議会運営委員 丸戸 研二
- 財政健全化特別委員 丸戸 研二
- 議会広報委員 丸戸 研二
- 選任 議会運営委員 坂口 晃一
- 財政健全化特別委員 坂口 晃一
- 議会広報委員 坂口 晃一
- 辞任 議会広報委員 横山 強
- 議会広報委員 横山 強

## 三豊市議会報告会 市内3会場で議会報告会を開催します!

令和3年度の主要事業等について議会の審査結果を報告するとともに、市民の皆さまから議会や市政に関するご意見をお伺いします。当日ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。

### 【開催日程】

開催場所	日時	出席議員
山本庁舎 2階 大会議室	5月18日(火) 19:00~	金子 辰男 岩田 秀樹 込山 文吉 西山 彰人 市川 洋介
マリンウェーブ イベントホール	5月20日(木) 19:00~	横山 強 三宅 静雄 城中 利文 川北 善伴 浜口 恭行
みとよ未来創造館 3階 大ホール	5月22日(土) 19:00~	瀧本 文子 三木 秀樹 詫間 政司 坂口 晃一 水本 真奈美

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止または延期する場合があります。

令和3年第1回(3月)定例会

■全会一致の議案等

Table with 2 columns: 議案名等, 議決結果. Lists various budget and administrative items approved unanimously.

Table with 2 columns: 議案名等, 議決結果. Lists various administrative and personnel items approved unanimously.

※人事案件(敬称略)

■賛否が分かれた議案等

Table with 22 columns for council members and 1 row for the budget item. Shows voting results for the 2023 budget.

※○:賛成 ●:反対 欠:欠席 退:退席 除:除斥 ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。(議長 12番 為広 員史)

3月8日・9日の2日間に各会派を代表して、7人の議員が代表質問を行いました。質問者順に要旨を掲載します。原稿は質問者本人が書いています。



市長の市政運営に対する思いについて

問 施政方針では、「健康」と「教育」を政策立案の基軸にした施策展開を行うとある。私にとつてのそれは、人としての存在を確かなものとする包括的概念だと考える。任期最終年度となる4年目の市政運営への思いを問う。

答 市民の命、健康を守ることが行政の最優先課題であり原点だと考える。また、過去から未来へとつなげ、このまちが持続的に発展し続けるための原点であり基礎となるのが教育である。人口減少や少子高齢化など多くの課題が山積しているが、総力戦で取り組みを決して不可能なことはないと信じている。豊かさを実感できるまちの実現は、市民一人一人が学びで得た知識や能力を生かして、豊かな地域づくりに貢献できる仕組みをつくっていくことが、持続発展する市の未来そのものである。その礎が「健康」と「教育」だと考えている。

健全な財政運営の計画的取り組みについて

問 ①一般会計予算案の規模が合併以来2番目と変わった要因を問う。②地方交付税と財政見通しを問う。③合併特例債の運用と財政見直しを問う。
答 ①市立新病院建設に11億円余の増と、人件費、公債費、扶助費の義務的経費の増加による。②合併算定替え交付が令和2年度で終了し、公債費を除いた普通交付税は減額となった。定員管

農業政策について

問 農政部新設による、薬用作物等の栽培への新たな取り組みについて、その考えを問う。

答 農政部はこれまでの事業を引き継ぎながら、薬用作物等の特色ある農作物栽培など、新たに一歩踏み込んだ視点で、省力化や高品質化のためのスマート農業の導入を推進し、農業振興に取り組む。

宝山湖公園芝生広場の整備について

問 コロナ対策等、財政への影響が懸念される中だが、将来的財政負担について問う。
答 整備費用の財源は、国や関係機関の補助制度のほか、民間資金を活用し財政負担を軽減するよう努める。



▲大規模な改修工事が決定した宝山湖公園芝生広場

その他の質問

- 新型コロナウイルス対応について
○「子育て支援センター」と「なないろ」の充実について
○デジタル推進室設置によるデジタル化のさらなる推進について

議会日誌

Calendar of council sessions from January 1st to March 9th, listing dates and session titles.



県内初の本格的給付型（払わなくてよい）奨学金が4月から始まるその意義を聞く

ふるさと納税を活用し、コロナ禍で少しでも学業に専念できるよう給付型奨学金制度をつくったことは、大変素晴らしいことだ。県内の自治体で最初に制度化となるが、現在在学中の学生にも適用されるのか。また選定の根本的基準は何か。

教育に責任をもつ国の諸施策だけでは、コロナ禍の学生への対応は不十分で退学、休学の希望者が多数出ている。経済的困窮が背景にある市として進学した学生が困っているなら手を差し伸べ寄り添うべきとの考えだ。指摘の現役学生への支援は制度の拡充を含め検討。支給学生の選考はあらゆる分野で「意欲のある」学生で、人物、家計の基準に基づき選ぶ。

市内の中小企業はコロナ禍で「以前も」だが、今後、デジタル化が進む中で、大変厳しい状況、人手不足を含め疲弊が進化している。デジタル化は都市でなくても田舎でも働けるシステムだ。優れた子どもたちに帰ってきてほしい。この奨学金制度を卒業後3年間は市内で働く条件をつけて市の将来を担う活性化の制度にしてはどうか。

気持的に「非常に近いもの」を持っているが、その条件で子どもたちの夢を実現する可能性を狭めてはならない。条件を設けず、自由に自らの進むべき道を進んでほしい。この創設した

市独自の給付型制度は、今後、情勢を反映した実効性の高い制度となるよう改善していく。  
「誰一人取り残さない」。個々に合わせた学習アダプティブラーニング導入の意義を聞く  
施政方針では各分野で「誰一人取り残さない」と明言している。教育面では、その点を個々の生徒に合わせた学習内容を提供するアダプティブラーニング導入とうたっているが、その目的は。

これまでの教育界での画一的な教育の中で、学級の中で「個々の子どもに合わせた学習内容」は難しかった部分だ。教師も非常に悩まされたところだと思う。ただタブレットを配ることでデジタル化であるとかアダプティブラーニングではない。使うことによって「瞬時に、この子はどこにつまづいているのか、どこを不得意とするのか」と先生が判ることが重要で、「これまで教育の理想とされた部分が可能になる」ということだ。これを確実に、教育の分野での「誰一人取り残さない」ことを断固として取り組んでいきたい。



▲タブレットを活用した授業

その他の質問

- 誰一人取り残さない・農業分野、ワクチン接種
- 鳥インフルエンザの被害養鶏者への支援
- 都市計画区域の拡大等について



宝山湖ボールパーク実現に向けて

プロサッカー選手の練習場として、具体的な構想とスポーツ地域マネジメントの可能性についての考えを聞く。

宝山湖公園を拠点に民間事業者のノウハウによる斬新なアイデアと利用者のニーズに即した運営を行い、地域のスポーツ団体とも連携しながら、スポーツ教室等を通じたヘルスケアモデルの構築に資する事業、スポーツを通じた健康づくり、持続可能な地域社会の形成、食を通じた健康づくりや災害時の対応等、さまざまな分野において連携していこうと考えている。

プロスポーツチームを地域のイノベーション創出の核とする経済・社会の活性化に対する考えと関係人口増加に向けての具体策を聞く。

宝山湖は、これまで平日の利用がほとんどない状況から、カマタマーレ讃岐に利用していただくことで施設の有効利用につながることも、プロスポーツチームの活動拠点になることで、子どもたちがサッカーを「する・みる・ささえる」ことに刺激を受け、より一層技を磨き、夢を実現することにつながるものと考えている。また、カマタマーレ讃岐のサポーターが見学に訪れるなど、人の交流や、これに伴う経済活動が活発になることにより、地域の活性化につながるものと考えている。また、ジュニアサッカーの大規模な大会やその誘致、夏休みなど長期休暇における学生の合宿誘致

など、旅行業界や観光業界と連携して取り組むことにより、交流人口増加と地域経済の活性化につながることを考えている。  
年齢や性別等にこだわることなく、誰もが持つ個性や魅力を否定されず、自己実現をかなえることができる環境をつくること。夢を持ち、意欲的に進もうとする全ての人に対し、学びの機会と環境を提供し、サポートしていく。

三豊市総合体育館改修について

三豊市防災拠点の中心拠点である三豊市総合体育館は、今回の改修で防災拠点機能、備蓄等防災機能は強化されるのか。

整備される空調機能や施設のバリアフリー化、障がい者や育児世代に対応した設備の導入などは、誰にも優しい環境への移行とされており、災害発生時には多様な避難者の受け入れに効果的であり、避難所機能としての充実強化にもつながる改修であると考えている。



▲防災拠点強化される三豊市総合体育館

その他の質問

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制について



三豊市が取り組むDXについて

新たに設置されるデジタル推進室の役割は。

行政情報システムの運営および管理・導入、ICT施策の企画、自治体DXの推進等、本市のデジタル推進に関する全ての全て。

マイナンバーカード普及の具体策は。

新たに市内の企業や自治会および地域のサークルなどへの出張申請を行う。

誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化をどう推進するのか。

無料スマホ教室などの情報を届けるのもデジタル推進室の役割。デジタル化の恩恵はデジタル参加をしない住民にもある。市民皆さまの理解を得ながら取り組む。



デジタル版プレミアム商品券事業について

キャッシュレス決済に対する不信感をもった住民もいる中、どのように進めるのか。

初めは紙版とデジタル版を併用し、デジタル版のプレミアム率を高めるなどのインセンティブをつけていくことから始めていく予定。地域事業者、市民皆さんがキャッシュレス決済を積極的に使っていくことで、消費拡大も期待でき、地域内循環につながり、まち全体が豊かになっていくことを目指す。

GIGAスクール構想への取り組みについて

GIGAスクール構想によって配備された1人1台端末をどのように活用することが効果的か。

学校だけでなく、家庭でも自由にタブレット端末を使いこなし、興味、関心のある情報を子どもたちが自ら探索し、学習に生かしていくなど、子どもたちの学習意欲を高め、深い学びにつながるよう活用を図りたい。

公共交通におけるデジタル化の推進について

時刻表アプリは、オープンデータを提供するだけでなく、市がアプリを開発し維持するの

バス情報のオープンデータ化は積極的に進めていくが、民間が採用するにあたっては課題もある。調整がつくまでは市が提供する必要があると考えている。

その他の質問

- スポーツ振興について

※アダプティブラーニング…データをもとに、学習者一人一人の進捗度に最適化された学習方法と教材を選択し、提供する学習サービス  
※インセンティブ…意欲を引き出すための外的刺激  
※オープンデータ…機械判読に適したデータ形式で、2次利用が可能な利用ルールで公開されたデータ

※ヘルスケアモデル…健康の維持や増進のための健康管理の事例  
※イノベーション…新たなものを創造し、変革で経済や社会に価値を生み出し、革新をもたらすこと  
※DX…デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用し、組織やビジネスモデルを変革し続け、価値提供の方法を抜本的に変えること

自民新公会



城中利文  
議員



人口減少・少子高齢化について

**問** 現在の人口、15歳以下、また65歳以上の高齢者の人数および何十年か先の人口減少・少子高齢化対策について。

**答** 令和3年1月1日現在6万1,586人、割合は15歳以下11・0%、高齢者35・7%。直近1年間で946人、1・5%の減少となり、今後も人口減少は続いていくと思われる。その対策として移住・定住施策に注力している。40歳未満の方や新婚世帯、県外からの移住に対する補助金制度等を実施している。財政面については、事務事業や固定費の徹底した見直しなど厳格な予算管理を行う。

三豊市在住の外国人について

**問** 外国人の登録人数および、今後の推移と外国人が登録することにより受けられる交付税額はいくらか。また、企業と連携して受け入れることにより、人手不足解消、空き家を住居として利用する等、さまざまな問題解消につながると思うが、市としての考えを問う。

**答** 令和3年1月1日現在1,052人で、これから増加傾向が見込まれる。交付税額ではなく、基準財政需要額を算定する上での金額として、1人当たり約15万円となる。企業と連携し、外国人雇用に関する制度や相談の充実等、企業が十分認知可能な手段等を整え、三豊市を選んでもらえるような環境づくりに継続的に取り組める体制を目指す。

観光について

**問** 市にわたっての観光とは、また市が目指す観光地とは。父母ヶ浜の大型連休に伴う交通渋滞等の対策について。

**答** 観光とは、誘客による外貨の獲得、新たな産業立地の創出、多様なライフスタイルの実現を目指すものである。行政が地元と密接に連携し、地域づくりを進めて、効率的な情報発信を続けていく。交通渋滞については、大型連休等混雑が予想される時期に限り、オンラインで駐車場の予約ができる有料サービスを導入し、混雑緩和につなげようと早期実現に向けて検討中である。サービス料金の一部は、周辺整備や環境対策に充てるなど、地域還元を努める。地域の皆さま、来訪者双方にとってより良い場所となるよう、指定管理団体と協議しつつ、交通問題の解決に取り組んでいく。



▲父母ヶ浜

志政会



川北善伴  
議員



水産業の振興について

**問** 夢と希望が持てるような水産業とは。

**答** 三豊市の水産業は、三豊市漁業協同組合と諺間漁協を中心にして振興が図られているが、漁業者の高齢化や減少、価格の低迷、消費者ニーズの多様化など、水産業を取り巻く環境は非常に厳しく、今後の漁業経営にも大きな課題となっている。今後ICTなどを活用し、漁業者への作業の効率化を図り販売力の強化に取り組むとともに、新規漁業者の確保にも努める。

**問** 漁業への新規就業に当たっては、漁船や漁具等への多額の費用が必要だが、独立後、数年間の生活安定への支援は、何かあるのか。

**答** 漁業への初期費用は、非常に高くなる。その部分の補助、または就業支援が今後重要になってくる。市単独でできるかどうかが非常に重要であるので、県や関係機関と連携を図りながら、漁業振興基金等を有効に活用し、進める。



▲箱浦港の様子

効率的で健全な財政運営について

**問** 今後さらに厳しい財政見通しの中、公共施設の再配置、特に行政目的を終了した施設の処分と活用について、今後どのように進めていくのか。

**答** 行政目的を終了した公共施設は、22施設となっている。今後、アスベスト調査をし、その後、鑑定評価の実施。最有効利用が建物再利用か、解体かを判断し、売却していく。令和7年度までに22施設全ての施設を処分していく。

本庁舎、詫間庁舎周辺および旧造船跡地の周辺整備について

**問** このエリアを将来的にどのように考えているのか。完成までのスケジュールは。また財源確保はできているのか。

**答** 本庁舎、詫間庁舎の周辺整備は、第2次総合計画と、ランドデザインの実現である。ランドデザインを描く中で、各施設・機能の個別計画を策定したところである。詫間庁舎周辺整備は、各施設・機能を集約し、造船跡地を活用して整備する案により可能性を検証する計画を進めたい。スケジュールの案として、令和3年度に支所、公民館、図書館等の庁内要求の機能整理、4年度に施設、公園、道路等の基本設計の作成、5年度に実施設計、6年度から工事を着手、7年度に工事完了、8年度から供用開始を想定している。財源としては、合併特別債や社会資本整備総合交付金等を想定している。

同志会



坂口晃一  
議員



人口減少対策に対する、目的と計画を問う。

合併15年、人口1・1万人減少、1世帯2・6人、少子高齢化が今後加速する。

**問** インフラ整備が人口減少防止に必要であるが、その対策は。

**答** 経済社会の環境変化に合わせ、関係部署、関係機関と連携して整備体制を推進する。

**問** 市道管理、防災対策を問う。

**答** 防災、減災に注視、整備体制の強化に取り組む。

**問** 企業誘致に対する組織強化策を示せ。土地規制、工業用水確保等組織の対応統一はできているか。

**答** 企業ニーズに合致する、立地用地の確保が困難である。土地の状況により、各種認可が下りない、工業用水確保も難しい中で、三豊に根差した企業の育成、ベンチャー企業の創設を図る。地域に合った企業立地や経済活動に関する情報を的確に収集し、発信・紹介できる体制を整える。

**問** 公共施設の利活用は今の計画で成果はあるか。市民の財産を処分方式で良いのか、市の活性化、人口の流入策に活用できないか。

**答** 公共施設等再配置基本方針で、決定施設は貸付、または売却に向け積極的に取り組んだ。

行政目的終了した施設は、行政利用がない場合は、原則売却処分する。令和元年度未進捗率52・7%、7年度までに削減目標3万1,609㎡とする。

**問** 農林振興の計画での荒廃農地対策、農地価格の暴落防止策について問う。

**答** 荒廃農地については有効利用を図るため、再生利用に取り組み、発生抑制のため、国の事業を活用し、集落組織で農地保全の推進、農林業に対する規制解除は基礎自治体が国に上げることが重要である。補助金の活用、三豊市のために全力を尽くす。

**問** 空き家対策での景観整備策について、撤去費用の支援、税の期間助成はできるのか。

**答** 市内1,998戸、所有者調査を行い、撤去費用の一部補助を行う。老朽危険空き家除去支援事業で57件実施。更地になると、住宅用特例が外れ、固定資産税が6倍に戻る。減税措置は国の動向や他市の事例により、統括的研究検討をする。





▲鳥の殺処分のため現場へ向かう準備の様子

**問** 鳥インフルエンザは、三豊市の基幹産業でもある養鶏場へ大きな打撃を与えた。現状と今後の対策について考えを問う。

**答** 発生後、香川県鳥インフルエンザ防疫対策本部と連絡を密に、三豊市特定家畜伝染病対策本部を設置して対応した。市内においては、11月5日から12月23日にかけて、12事例、18農場で約17.5万羽の殺処分を行い、埋却処分を実施した。補償・再建に向けた援助としては、国と県に支援事業があり、今後は、市でも

石井勢三  
議員



鳥インフルエンザについて

浜口恭行  
議員



自治体DX(デジタルトランスフォーメーション)について

**問** 国においてデジタル庁の設置、本市でも「デジタル推進室」が設置される中で、今後は「自治体DX」にはどのような展開を考えると取り組んでいくのか。

**答** 昨年のデジタルファースト宣言以降、本市では各分野でデジタル化に取り組んでいるが、4月に設置するデジタル推進室において、デジタル庁の政策展開を注視しながら、行政サービスのデジタル化をさらに積極的に展開していきたい。本市としては、DXにより、書かなくていい、来なくていい市役所を目指していく。

この自治体DXを推進していくに当たり、人材育成も重要と考えている。このデジタル人材育成の一助になればと、MAI-ZM主催の自治体職員を対象としたDX講座の開催を予定している。対象は40歳未満の若手職員とし、これからの時代を担う職員にそのスキルを身に付けていただく、将来に向かって持続可能なデジタル施策の展開につなげていく。

教育ICTの活用推進について

**問** 本市のICTタブレット学習に達した「考える力」をつけさせられる教育方針について聞く。

**答** 考える力は習得、活用、探求という学びの過程で各教科などの特質に応じた見方、考え方を働かせながら、子どもがさまざまな考えを出し合っていて考えを相互に練り鍛えていく中で身につけていくものだと思える。ICT機器では考える力が身につけにくいということではなく、機器をうまく活用することで、子ども達の探究心、協働的な学びを実現し、考える力を育成していきたい。



▲タブレットを使った学習風景

その他の質問

○地域コミュニティ政策について

養鶏者への支援を行っていく。また今後の予防と対策は、農場に対して、従業員の消毒等の徹底、農場施設内の修繕など、国の調査チームが指摘した事項について、県と連携し、予防対策をサポートする。今後とも、国、県と緊密に連携し、支援策並びに予防対策に万全を期していく。

スポーツ発展の取り組みについて

**問** 三豊市には、過去スポーツにおいて、素晴らしい成績、経歴を持つ方がたくさんおられる。その実態を調査し、その方の協力により、より良い指導・活動が期待できるのではと考えられる。学校の部活動での教員の負担も軽減できるのではとも思われる。今後の考えを問う。

**答** 素晴らしい成績を収めた経歴の持ち主の存在については、これまで実態調査を行っておらず、体育協会、スポーツ少年団等の口コミやネットワークを通じての情報収集、また、スポーツ・文化芸術大会出場奨励金の交付申請により情報を収集しているのが現状。スポーツの指導を行いたい人と受けた人をつなげるスポーツ指導者人材バンクを創設している自治体もある。これに学び、生きがいがいづくりという目的も含め、あらゆるスポーツ振興のための指導者の積極的活用策に取り組んでいく。

各契約について

**問** 各契約書・約款・要綱・規則等の問題点と改善点を問う。

**答** 過去の契約書や仕様書を精査すると、ご指摘のように、記載されていない事例もあることから、今後は、各種契約書等において、不都合な内容については、修正させていただきたい。

**問** 今後の各契約書に特約条項を明記とした取り組みをするべきでは。

**答** 特約条項の明記については、今後、契約段階において必要な場合には早急に取り入れていけるよう検討したいと考えている。

**問** 新永康病院の請負契約で30年の建物保証とした特約条項をつければ、どれだけの増額を提案されたのか。

**答** 仮に30年とすれば、相当額の額が必要という回答があった。現在建築中の新病院は何年ぐらいたの建物保証であるのかを

横山 強  
議員



高木 修  
議員



猪ノ鼻道路開通とその後について

**問** 令和2年12月、国道32号猪ノ鼻の交通量の変化を伺う。

また、現在進行している「道の駅たからだの里さいた」の改修工事の目的と目標を伺う。

**答** 開通前、1日約5千台が国道32号を利用していたが、開通後の調査では、約4割増加となる1日約7千台が利用しており、効果が現れている。地方創生の大きな弾みになることも期待される。



▲改修された「道の駅たからだの里さいた」

**問** 概念的な部分になるかと思うが、当然病院は30年以上という部分では当然考えている。それでいいんですかね、分からない。

**答** 概念的な部分になるかと思うが、当然病院は30年以上という部分では当然考えている。それでいいんですかね、分からない。

**問** プロポーザル方式による事業者関係の情報公開可否の運用についての問題点と改善点を問う。

**答** プロポーザル方式による業者選定過程の情報公開の可否についても、議員ご指摘のとおり状況であるとして認識している。実施に当たり、透明性に欠けると判断される項目については、今後、内容を改善して、より一層の透明性を確保し、審査の公平性やプロセスの透明性の確保されていない部分は改定に向け改善すべきは改善してまいりたいと考えている。



▲問題視されている契約書、約款等

一方で、「道の駅たからだの里さいた」で物産館の改修工事を行っている。トンネル開通を絶好の機会と捉え、施設の機能強化による利便性を高め、リピーター獲得や新規顧客の開拓を図りたい。

大型宿泊施設の誘致について

**問** 以前の一般質問のやり取りの中で、大型宿泊施設誘致の構想があると伺ったが、その後、動きがあるのか。

次に、せっかく三豊市の観光に越えたいだいた方に、市内にホテルがないために近隣のホテルを紹介せざるを得ない現状をどう考えるのか。

**答** 現在三豊市には、50余りの宿泊施設が点在している。これらの3分の2が平成28年以降の開業である。父母ヶ浜や紫雲山などへの観光客の増加とともに起業され、市内において観光の産業化が進んでいることがうかがえる。

また、立地と景観を生かした魅力あるゲストハウスが、荘内半島を中心に多く立地している。ホテル誘致に向けたアプローチは、引き続き行っていきたい。

※デジタルファースト宣言…2020年に三豊市が示した「関係人口施策、市民サービス、自治体運営の分野に急速に進展するデジタル領域の力を最大限に活かし施策を展開する」という宣言



水本真奈美 議員



認知症高齢者の見守りについて

GPS端末を活用した見守りシステムの活用について伺う。

現在、高齢者あんしん見守りネットワーク推進協定を7事業所と締結し、安否確認の協力をいただいている。また、平成30年には三豊警察署と相互連携の推進に係る協定を締結している。もし徘徊SOSネットワークに事前登録された高齢者が行方不明になった場合には、登録本人情報を協力員へメール配信し、早期発見、保護できる体制を構築している。今後はGPS機能やIoT機能を活用した見守り支援体制の充実に向け検討していく。

認知症高齢者の賠償責任保険の取り組みについて伺う。

認知症に関する事故や徘徊などで認知症自体が危険という認識を持たれる危険性もあり、慎重に検討を進める。

ひとり親の貧困(養育費不払い)について

ひとり親世帯の48.1%、約半数が深刻な貧困状況にあり、離婚

後、養育費の不払いが貧困の要因の一つと指摘されている。①本市の現状②養育費確保サポート支援と調停の申し立てや公正証書の作成に係る費用補助の考えを伺う。

令和3年2月末で児童扶養手当を申請しているひとり親世帯は593世帯で、養育費を受給している世帯は148世帯、約25.0%である。②今後は国のひとり親世帯への支援制度の動向を注視し、子どもの健やかな成長のために、さまざまな相談や支援を丁寧に行い、ひとり親家庭の生活困窮など、支援の充実を図っていく。



他市図書館の消毒機

図書の消毒機について

新型コロナウイルスの影響で、図書館の利用減少と聞く。不特定多数の方が利用する図書館の本を清潔な状態で安心して借りることができ環境づくりのため、図書の消毒機の導入の考えを伺う。

消毒機の性能や効果の検証、財源や運用方法の検討を行い、早期導入に向け協議を行う。

よって、就労支援対策や求職者等への支援訓練等の相互連携を図れるよう取り組んでいる。

高齢者「み出し支援」について

ごみ出し困難者の個別収集の対象者は、1人暮らしの高齢者や身体障害者手帳を持っている方が一般的と思われる。1人暮らしの高齢者で要介護認定を受けている方は何人か、また65歳未満の身体障害者手帳などお持ちの方で、ごみ出し支援が必要と思われる重度の視覚障がい者や、肢体不自由の方で1人暮らしの方は何人かを質問する。

ごみ出し支援についての対象者は要支援の方で、本市では介護保険事業の訪問型サービスAをシルバー人材センターに委託事業として実施している。1人暮らしの高齢者で要介護認定を受けている方は877人、65歳未満の身体障害者手帳をお持ちの方は606人である。そのうち重度の視覚障がい者、肢体不自由の方で1人暮らしの方は7人となっている。

その他の質問

審議監について

支所の空き部屋活用について



瀧本文子 議員



在留外国人と共に生きる多文化共生の地域づくりについて

人口の17.1%、1,052人が市内で暮らし増加傾向にある。地域経済を支える重要なパートナーとして、共生できる地域社会づくりが求められるが、

令和3年度アンケート調査を実施し、より充実した施策を進めていきたい。

在留外国人の現況、特に母子保健について伺う。年間の出産数、家庭訪問などの相談活動および妊娠・出産時の医療現場の不十分なコミュニケーション対応について。

妊娠届け出数は7件(R2年)で、母国語の母子手帳を交付、説明を心掛けているが十分な理解は難しい。健診等は通訳、翻訳アプリ等を活用。安心して妊娠・出産に臨めるよう医療機関との連携に努めていきたい。

日本語教室・生活相談について伺う。先進地は、国際交流協会が「日本語教室」を開催し、生活相談や情報提供等を積極的に行っているが、本市の取り組み状況を伺う。

「女性議会」の開催について

「女性議会開催を提案したい。」

男女共同参画推進の1方法であり、市民意識を変え幅広い層の方がまちづくりへ参画する翼を担うことが期待される。協議してきたい。

子どもたちが生きる力、生き抜く力という部分を広めた教育、人間力という部分の要素になるものは、どんどん取り入れていけたらと思っています。

「健康」と「スポーツ」について

サッカーだけでなく市内の小学生スポーツ大会運営やスポーツ少年団など小学生スポーツ団体などにも応援や援助を考えていただきたい。

今以上に後方、側面も含めて支援してまいりたい。

市内各種公園の維持・管理について

子ども子育て目線での公園の維持管理が必要ではないか。

今後の公園の管理は、幅広く使っていけるような公園管理を心がけていきたい。

公園を子育て目線で見たいチームが必要では。

他部署の意見等も聞きながら、今後、検討していく。

市内各種公園の維持・管理について

子ども子育て目線での公園の維持管理が必要ではないか。

今後の公園の管理は、幅広く使っていけるような公園管理を心がけていきたい。

公園を子育て目線で見たいチームが必要では。

他部署の意見等も聞きながら、今後、検討していく。

市内各種公園の維持・管理について

子ども子育て目線での公園の維持管理が必要ではないか。

今後の公園の管理は、幅広く使っていけるような公園管理を心がけていきたい。

公園を子育て目線で見たいチームが必要では。

他部署の意見等も聞きながら、今後、検討していく。

市内各種公園の維持・管理について

子ども子育て目線での公園の維持管理が必要ではないか。

今後の公園の管理は、幅広く使っていけるような公園管理を心がけていきたい。

公園を子育て目線で見たいチームが必要では。

他部署の意見等も聞きながら、今後、検討していく。

市内各種公園の維持・管理について

子ども子育て目線での公園の維持管理が必要ではないか。

今後の公園の管理は、幅広く使っていけるような公園管理を心がけていきたい。



近藤 武 議員



就職氷河期および新型コロナウイルス影響対策について

景気の後退が社会全体に広がってきており、就職氷河期世代や非正規雇用など、経済的に社会弱者になりがちなたちへの仕事の減少、雇用の創出などの影響が及んできている。非正規雇用者に対する就職相談や正規雇用の支援について、またハローワークとの連携について質問する。

県等では令和2年6月に就職氷河期世代活躍支援かがわプラットフォームを設置している。本市はハローワーク観音寺と連携協定に

よって、就労支援対策や求職者等への支援訓練等の相互連携を図れるよう取り組んでいる。

高齢者「み出し支援」について

ごみ出し困難者の個別収集の対象者は、1人暮らしの高齢者や身体障害者手帳を持っている方が一般的と思われる。1人暮らしの高齢者で要介護認定を受けている方は何人か、また65歳未満の身体障害者手帳などお持ちの方で、ごみ出し支援が必要と思われる重度の視覚障がい者や、肢体不自由の方で1人暮らしの方は何人かを質問する。

ごみ出し支援についての対象者は要支援の方で、本市では介護保険事業の訪問型サービスAをシルバー人材センターに委託事業として実施している。1人暮らしの高齢者で要介護認定を受けている方は877人、65歳未満の身体障害者手帳をお持ちの方は606人である。そのうち重度の視覚障がい者、肢体不自由の方で1人暮らしの方は7人となっている。

その他の質問

審議監について

支所の空き部屋活用について

市内各種公園の維持・管理について

子ども子育て目線での公園の維持管理が必要ではないか。

今後の公園の管理は、幅広く使っていけるような公園管理を心がけていきたい。

公園を子育て目線で見たいチームが必要では。

他部署の意見等も聞きながら、今後、検討していく。



湯口 新 議員



「教育」について

施政方針で書かれている教育とは、特に中学生までの子どもたちへの教育とは具体的にどのようなことを指しているのか。

予測困難な時代を生き抜くためには、多様な人々と協働しながら、さまざまな社会的変化を乗り越えていく力や一人一人が自分の良さや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重しながら、自ら豊かな人生を切り開き、持続可能な社会のつくり手となることが必要。一人一人が大事な人材で、誰一人として取り残さないことは重要な施策。教育支援センターの機能強化、校内の別室における相談・指導体制や遠隔・オンライン教育、アダプティブラーニングなどを充実させていく。

さらに5教科の学習に限らず芸術やスポーツの分野でも子供たちの可能性を引き出す環境を整備していく。子どもたちの郷土愛を育むための教育はもっと必要では。

子どもたちに郷土愛を育むための教育をより一層図っていく。オルタナティブスクールの設立に取り組んではどうか。

市内各種公園の維持・管理について

子ども子育て目線での公園の維持管理が必要ではないか。

今後の公園の管理は、幅広く使っていけるような公園管理を心がけていきたい。

公園を子育て目線で見たいチームが必要では。

他部署の意見等も聞きながら、今後、検討していく。

市内各種公園の維持・管理について

子ども子育て目線での公園の維持管理が必要ではないか。

今後の公園の管理は、幅広く使っていけるような公園管理を心がけていきたい。

公園を子育て目線で見たいチームが必要では。

他部署の意見等も聞きながら、今後、検討していく。



※オルタナティブスクール…「もう一つの学校」の意味をもち、現在の公教育とは異なる、独自の教育理念・方針により運営されている学校の総称





岩田秀樹 議員



鳥インフルエンザから畜産農家を  
守る対策の拡充と課題

- 問** 発生原因と感染ルートの解明。
- ② 家畜伝染病予防法では、衛生管理の指導を県が、市が協力するとある。家畜保健衛生所職員、獣医師の数が不足ではないか。
- ③ 「農家個人の対策や施設改修」にも使える「支援交付金」の検討や防鳥ネットの全施設への配布の検討を。
- ④ 埋却地の確保は農家が行うこととされている。防疫体制の整備をどう確認していくのか。
- ⑤ 殺処分などの業務に見合う「手当金」を検討できないか。
- ⑥ 発生農家や殺処分した家畜に対する支援制度の周知状況は、「家畜防疫互助基金」は、農家ベースで6割強の加入で、農家が離農に追い込まれないような支援制度の改善を求める。

**答** 市内の飼育数の約4割に当たる約175万羽の殺処分と埋却を行った。

① 発生原因と感染ルートは、ウイルス

又に感染した野鳥の死骸やふんに触れたネズミなどの小動物が卵などを狙って鶏舎に侵入した可能性が高いとされる。

② 県内には63人の家畜防疫員がいる。三豊管轄の西部家畜保健衛生所には12人と西讃地区の養鶏業の規模からみると、非常に少ない県に対して家畜防疫員の増員の要望を提出している。

③ 国や県において農場施設の改修に向けて、県では補助事業を三豊市においても養鶏業の経営継続に対しての支援を準備している。

④ 農場再開の条件の一つが埋却地の確保である。県有地や市有地の埋却地の確保もある。

⑤ 防疫作業手当を1日につき2千円支給。

⑥ 発生農家等への支援制度は県畜産課が説明会を開催している。三豊市としても養鶏業の維持継続に対して支援をしたい。



鳥インフルエンザ待機所

**答** 了解しました。

障がいのある子の親の不安「親  
亡き後」について

- 問** 親亡き後の不安を解消するためには何をすべきか。
- 答** 親が高齢、将来に不安を持っている等の相談があれば、助言や必要に応じて成年後見制度の説明をする。
- 問** 親が認知症になっている場合や成年後見の申し立てをしてくれる親族がいない時は。
- 答** 三豊市成年後見制度利用支援事業を実施している。

夜間中学について

- 問** 夜間中学開校について、より慎重に議論して、設置か否か、審議されるべきではなかったのか。設置となった経緯を聞く。アンケート調査結果を問う。
- 答** 市内在住で夜間中学就学希望者がいる限り、放置できない。アンケート結果、就学希望105人（日本人8人、他、外国籍）。
- 問** 三豊市における公立中学校夜間学級の在り方検討委員会の進捗状況や内容を市民に伝えてほしい。
- 答** より議論を深め、内容については逐一、報告していく。



▲ 薬用作物のトウキ



金子辰男 議員



三豊市の農業政策について

- 問** 農家が自発的に取り組み、もつかる農業施策が推進できているのか。耕作放棄地は減少しているのか。
- 答** ニーズの高い農産物の栽培を推進、新たな特産品の検討を進めている。耕作放棄地は年々増加の一途をたどっている。
- 問** 農業環境が整っていない。
- 答** 地域の声を積極的に聞かせていただき、農地や農道、水路などの農業インフラ整備を推進している。
- 問** Aーやスマート農業を入れて稼ぐ農業、挑戦できる農業にするためにさまざまな仕掛けをつくったり未来を切り開く政策にしてほしい。



西山彰人 議員



旧詫間庁舎周辺整備について

- 問** 詫間以外の5つの支所は、すべて耐震対策を終えている。仮事務所の詫間支所はあと何年でできるのか。また、讃岐造船所跡地は都市公園にするなど、見栄えの良い景観にできないか伺う。
- 答** 詫間庁舎周辺整備は令和3年度構想計画、4年度基本設計、5年度実施設計、6年度工事着手、8年度供用開始の予定である。

新型コロナウイルス感染症対策について

- 問** 予防接種が始まるが、変異株の動向など、まだまだ予測は困難だと思いが、これからの対応について伺う。
- 答** 観音寺市や医師会と連携しながら、ワクチンの供給計画に合わせ、適切かつ迅速に接種事業を進め、市民の方々への不安解消に努め、適宜迅速に、正確な情報発信に努める。

保育所や幼稚園施設の老朽化対策について

**問** いつ巨大地震が来ても不思議ではないと言われていて。老朽化が進んでいる、幼稚園や保育所で、

建て替え計画や、財政的な事情で、改修して応急処置をする等と聞く、その対応はどうなっているのか。

**答** 老朽化が進む施設の必要な改修や更新が不可欠であると考えている。早期に改修、改築に取りかかれるよう協議している。

職員の職務体系について

- 問** 複数の課が入り交じってパソコンを眺めながら自由席で職務を行う、ワークスタイル改革とはどのようなものか伺う。
- 答** ワークスタイル改革については、働き方改革推進法の成立により、時間外勤務の慢性化、前例踏襲など、公務員特有の業務スタイルの硬直化などの課題があり、いわゆる縦割りの弊害ともいえるべき部局間のコミュニケーション不足の現状打破を目指しており、令和3年度本庁舎2階での取り組みに関し効果検証を行い、その結果を踏まえて全庁舎展開を検討する。



▲ ワークスタイル改革の市役所事務所

総務常任委員会

3月2日開催の総務常任委員会には、7議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和2年度一般会計補正予算(第11号)中の関係部分

- 問** 消防施設費の建設工事関連委託料の減額補正について、かなり減額となっているが、その要因は何か。
- 答** 複数の実施設計業務に執行残が生じたこと、三野町防災センター建設の実施設計を令和3年度に実施する計画としたことにより不用額が生じたためである。
- 問** キャッシュレス決済ポイント還元事業について、還元率30%で、1回当たり1千円に設定したのは、1回当たりの決済額が小さい事業者をターゲットにしたためなのか。
- 答** 小規模店舗が多いため、1回当たりの単価を1千円で想定している。

三豊市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

- 問** 永康病院に勤務する技師に対して、待機手当を支給できるようにするための条例改正について、何人が待機状況になるのか。
- 答** 診療放射線技師4人、臨床検査技師5人が対象となる。1人当たり月に6回から8回待機することになる。
- 問** 三豊市産地形成促進施設条例等の一部改正について
- 問** 温浴施設にRVパークを整備するということだが、父母ヶ浜には温浴施設がないのではないのか。
- 答** 温浴施設はないが、シャワールームがあり、近隣に公衆浴場もある。



▲ 今後予定されているRVパークの一例

- 問** 「何人も閲覧できる」と改正することだが市外の方から指摘があったことによるのか。
- 答** 指摘があったということではない。誰でも閲覧できるように改正し、透明性を高めたい。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

委員会審査

3月定例会では、各委員会に議案が付託され、その審査の経過や結果が、本会議で報告されました。委員会での審査内容を掲載します。



市民建設常任委員会

3月4日開催の市民建設常任委員会には、7議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和2年度一般会計補正予算(第11号)中の関係部分

問 総合案内業務の委託料の減額補正について、業務効率化という目的があつて予算化したと理解しているが、委託を取りやめた理由は何か。

答 業務委託では受託事業者の労働者に対し、市の職員から直接必要な指導が行えないことなどの問題点を踏まえ、今回、民間委託は見送ることとした。今後は、会計年度任用職員での対応を予定している。

問 事業系一般廃棄物処理手数料の減額補正について、事業活動が停滞していることによるものと思われるが、どれくらい減少しているのか。

答 3.1800トンを見込んでいたが、実際の処理量は2,412トンである。特に、外食関係からの排出量が減っていると考えている。

問 繰越明許費に関して、毎年度、多額の金額が計上されているが本質的な要因は何か。また改善策があるのか。

答 入札の関係で年度当初が建設事業者にとって閑散期となっており、国

からの助言もあり、工期の平準化に向けて繰越明許を活用している。

また、用地交渉における人員不足と、令和2年度はコロナの影響により、交渉が進まなかった。

土地改良事業については、県営事業での繰り越しが主なものとなっており、秋ごろに国や県の補正予算に伴い事業化されるため、当初から繰り越しを前提に工期が組まれているものもある。

三豊市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

問 鳥獣被害対策実施隊の人数は何か。

答 現在177人である。

問 鳥獣被害対策実施隊の報酬が年額2千円から1万円への増額となるが、その根拠は何か。

答 狩猟者登録に係る保険料や、狩猟免許の更新に要する経費等、実施隊員として活用するために必要な年間の経費に相当する額である。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。



教育民生常任委員会

3月3日開催の教育民生常任委員会には、15議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和2年度一般会計補正予算(第11号)中の関係部分

問 幼稚園総務管理事業のうち、吉津幼稚園の空調設備はどのような内容か。

答 幼稚園の遊戯室に空調が付いていない施設が7カ所あり、順次整備を行っていく。吉津幼稚園は国の補助金交付決定があり、追加した。

問 コロナで失業等に対する三豊市生活支援臨時給付金が実績で500万減額の実績を教えてください。

答 1月末で1,560万円の支給実績で緊急小口資金が115件、総合支援資金56件。

三豊市こども子育て支援センター機能等検討委員会設置条例の制定について

問 各地区で支援センター等がないところは設置するかどうか考えはあるのか。

答 市内の子育て支援センターは高瀬、仁尾にある。山本、三野、豊中、詫間の地域には、つどいの広場があり、山本では保健センターの2階で行っ



以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

予算特別委員会

2月26日、3月15・16・17・18・23日開催の予算特別委員会には、令和3年度一般会計予算等10議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

◆一般会計予算

総務費

問 令和3年度山本、詫間、財田の消防屯所が建て替えとなるが、未耐震25件の消防屯所の計画は。

答 23件が屯所、車庫と2件が水防倉庫である。再編計画によりスピード感をもって取り組む。

問 デジタル商品券事業の予算と観光需要回復キャンペーンとの関係は。

答 デジタル商品券事業で、アプリ運営費と還元ポイント分を計上し、観



▲市移住定住ポータルサイトみとよ暮らし手帳

光振興事業の委託料で、観光需要喚起のためのポイント分250万円を計上している。

問 定住促進事業は最重要課題である。人口減少対策に向け反転攻勢の姿勢で他部署との共同事業、共同企画の定住促進の取り組みを聞く。

答 令和2年度12月時点で91人が市外、県外から移住の結果が出ている。2年度は地域戦略課と産業政策課とが連携し月1回観光移住情報をメルマガ配信、みとよほんまモンブログでは移住者の声や地元企業の紹介を掲載した。またハローワークと連携し求人情報を掲載、オンライン移住セミナーを2回開催し72人の方が視聴した。各部署が一丸となりチームみとよで攻めの姿勢を忘れず、目標に向かい取り組む。

問 交通政策推進事業について①デマンド型乗合タクシーの予算反映は。②今後の計画について。

答 ①予算化はできていない②調査・検証を積み上げ、過疎指定も視野に入れ過疎地域自立促進計画策定と併せてデマンド型乗合タクシーを考えた。

農林水産費

問 高病原性鳥インフルエンザの発生により鶏舎内の鶏は全羽殺処分となり被害損害は大規模で深刻なものとなった。今後の取り組みにつ

いて。ウインドレス鶏舎かどうかにかかわらず、飼育衛生管理基準の徹底を図ることが重要である。今回県の補助事業で小動物の侵入防止の修繕支援を行い、本市も給付金の準備を進めている。県と連携を図り飼育環境改善に努める。



▲防疫措置の様子

問 給付型奨学金は他の奨学金と併せて受給できるのか。

答 5万円が20人の新規事業で、他の奨学金と併用できる。

問 宝山湖公園管理運営事業について①管理運営費用の見込み②維持管理計画③他に類のない三豊市の価値をどこに見出すとするのか。

答 ①約3千万円を見込み、企業版ふるさと納税などを呼び込む。②指定管理者の選定を行い、宝山湖パークの実現に賛同する民間企

業の事業展開を想定し、今後企業版ふるさと納税の依頼と併せて募る。維持管理計画についても参画企業と協議する。③民間活力を活用してスポーツと健康増進を図り、市民の健康と子どもの夢をかなえるとともに交流人口、賑わい創出につなげ、持続可能な三豊の将来を実現する。

◆病院事業会計

問 令和4年度病院に向け、①必要な人材の確保や②医療機器等の導入をどう進めるのかについての短期投資計画と、③中長期経営収支計画を伺う。

答 ①元年度より病院職員を26人、3年度に13人の増員を予定している。②医療機器導入は3年度に契約し、4年度に納入予定である。③元年度、地域包括ケア病床導入で前年度比2千万円の増収、11月に病院経営タスクフォースを立ち上げ月400万円の増収となり、2年度国より新規に7千万円の交付税措置となつているが、用地代として一般会計へ1億円の組み替え、約8千万円の人件費増となり厳しい経営状況であるが、開院後の稼働率、入院単価の大幅な増(元年度比50%増)を見込み、中長期収支均衡を目指す。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

※デマンド型乗合タクシー…タクシーの「ドア・ツードアによる送迎の利便性」とバスの「乗合による低料金」という特長を兼ね合わせた移動サービス  
※ウインドレス鶏舎…窓のない鶏舎  
※タスクフォース…通常の組織内で行う仕事とは別に、緊急性の高い特定の課題を解決するため、一時的に設置される組織のこと